



第2次補正予算案の行方・・・。

2008 年度第 2 次補正予算案と関連法案は 13 日夜の衆院本会議で、与党などの賛成多数で可決、参院に送付されました。当然ですが、野党は採決に反対し、民主、社民両党は採決時に退席。共産党は出席し反対、国民新党は本会議を欠席。

麻生総理は、「景気対策の第 2 弾ロケットであり、1 日も早い成立を望んでいるものだ。参院でも早期に審議、採決していただくことを期待する」とのコメントを発表しましたが、関連法案の衆院再可決が可能になる 3 月中旬にも再び緊迫した局面を迎えることになるのでしょうか・・・。

中小企業の経営と政治は全く関係ないと思っている方も多いと思いますが、実際はそうではありません。中小企業対策は、当然のこと、国家予算から捻出されています。この 2 次補正には、信用保証枠、貸付枠の拡大、改正金融機能強化法など、中小企業対策として重要な内容が盛り込まれています。野党は、いわゆる“定額給付金”を争点にして反対していますが、与野党ともに、もっと中小企業のことを考えて欲しいものです。

中小企業の関連予算がスムーズに成立しないと中小企業向け支援が円滑に実施することが困難になる可能性も否定できません。中小企業の経営者も、こういうことについて、ちょっとだけ興味を持って欲しいと思います。

21年の資金調達スケジュールを確認！

平成 21 年が始まりました。今年 1 年の資金調達スケジュールについてまとめてみます。

● 1～2 月

自治体の助成制度などの詳細が公表される地域がありますので、確認してみてください。それと、年度末に向けての資金繰りの確認を！ 金融機関とのコミュニケーションを怠らないように。融資の申込みは計画的に早め早めの対応を！

● 3 月～春

自治体の融資制度の内容が改訂されます。大きく変わらないと思いますが、地元の制度融資に資料等はネットが自治体で入手しておきたいです。

● 3 月（～5 月）

3 月以降、金融機関の決算がどうなるのか、この時期は報道等に注目してください。また、中小企業も決算が出来次第、できる限り取引先の金融機関への報告等もしたほうがいいでしょう。特に、今年は厳しい年でしょうから、コミュニケーションを大切にしたいものです。

● 3 月～6 月、7 月

春頃をピークに、補助金・助成金の公募が急増します。是非、申請できるものはチャレンジして頂きたいです。

● 春～夏～秋頃??

いつか分かりませんが、解散総選挙があります。世論調査だと、現状のままですと、民主党政権が発足する可能性が高いです。民主党の中小企業対策についてもチェックしたいものです。

● 7 月～9 月

補助金・助成金の公募が激減します。中小企業金融対策においては、特に大きな動きのない時期です。また、夏季の資金繰りの確認を早めに！

● 9 月

3 月決算の企業は、半期が終了しました。後期に向けての経営計画の見直し等をして欲しいです。同時に、金融機関なども一つの区切りです。業績などにも注目しておきましょう。

● 9 月～11 月

補助金・助成金の公募が少しずつ増加します。しかし、マニュアルな制度が多くて、多くの中小企業においては、春の公募の方が適当かと思えます。

● 10 月～12 月

年末に向けての資金繰りの対策を早めに対応しましょう。取引先金融機関とのコミュニケーションを怠らないようにして下さい。融資の申込みは計画的に早め早めの対応を！

このように一年間の流れを大雑把に整理しておきましょう。今年は、融資環境が厳しくなる可能性が高いので、返済不要の補助金・助成金の活用についても是非検討して欲しいと思います。今後、このレポートでも補助金・助成金についてのノウハウや最新情報を提供していきます！！